

グラたん

―― 症例データグラフ簡単作成ツール ――

個別症例グラフ作成がとても簡単になった!(^^)!

N氏の言葉

SASグラフはちょっと苦手(p_-)

第一、試験ごとに毎度いろいろなところのプログラム修正が必要でとても面倒(+_+)

でした……でも、今日からは

試験の規定ポイントを登録して

Visit Position Value	Visit Position Label	Visit Delete
-41		
-13	3038	
1	101	
15	1002	
29	1004	

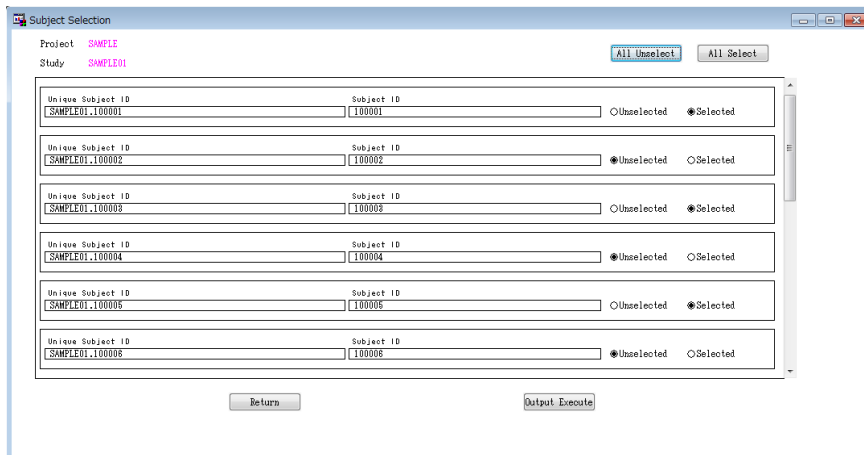
どのデータからどんなグラフを作成するかを登録して

Title (Req.)	Project View (Req.)	Method (Req.)	Ins.	Del.	Up	Down
試験者管理	SUMMARY	VI				
試験実施状況	EX	SS				
試験発生	OH	SS				

※上記以外にも「プロジェクトの登録」「試験の登録」「フォーマット登録（縦軸ラベルにフォーマットを付す場合）」といった登録画面があります。

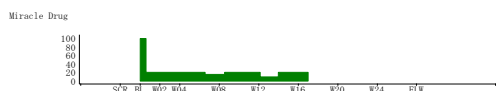
「こんなグラフが欲しかった」を実現)^o^(

あとは症例選んでポチッ)^o^(

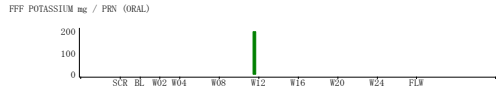
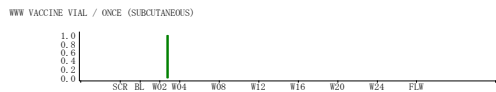
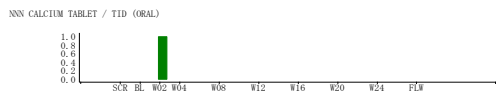
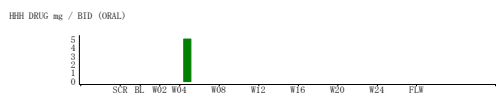
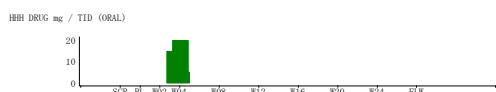


すると個別症例グラフが出来ちゃった(*_*)

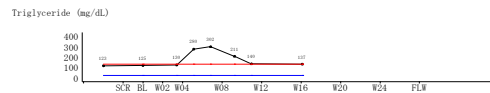
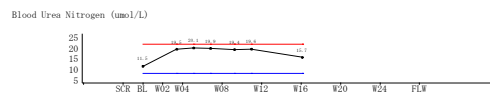
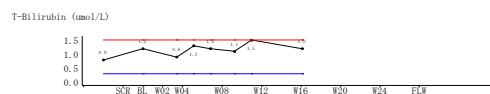
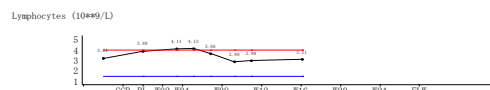
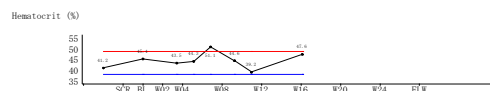
【 試験薬剤投与 】



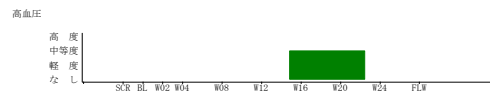
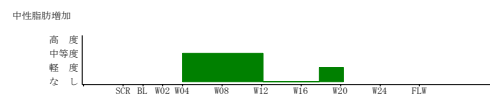
【 併用療法 】



【 臨床検査 】



【 有害事象 】



(A4縦出力例を縦横約45%に縮小し左右に並べて表示しています)

症例ごとにR T Fファイルが作成されます。

上記例では縦軸は薬剤の投与量、臨床検査の検査結果、有害事象の程度を、横軸は時点を表しています。この時点軸はすべてのグラフで共通したものになっています。このため同一時点の出来事の比較が行いやすくなっています。

「グラたん」は SAS/AF で作成したアドオンソフトで、臨床で得られる SAS データから簡単な操作で個別症例ごとにグラフを作成します。同時期に起こった他のデータと比較できるので症例評価に有用な情報を提供します。

SAS Basic 1 程度の知識があれば設定が可能で、一度設定を行った後は SAS プログラムを全く知らない他のユーザであってもいつでも症例データグラフを作成することができます。

結果は SAS Output Delivery System を用いて Rich Text Format で出力しますので Microsoft Wordなどで読み取りが可能です。

概要

1 症例ごとに 1 RTF ファイルを作成します。データと手法を組み合わせることにより症例評価をするうえで有用なグラフを作成することができます。

グラフは同一の薬剤や同一有害事象、同一検査項目などの同一グループごとに 1 つ出力します。グラフ作成の手法は次の 3 種類を用意しています。

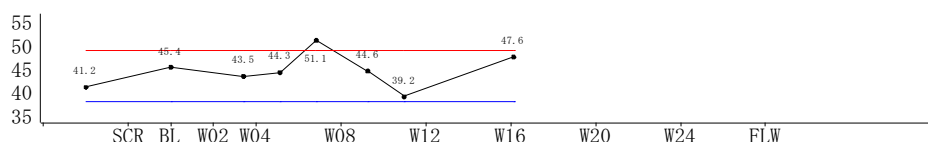
なお横軸は時間軸で試験ごとにすべてのグラフにわたって共通の設定を用います（このため同時期の比較を行いやすくなっています）。

【手法 Plot Graph】(PG)

検査値の推移を（基準範囲があればそれとともに）出力できます。テキストは MS Mincho 8pt で出力します（ただし検査値は MS Mincho 4pt で出力します）。

[出力例]

Hematocrit (%)

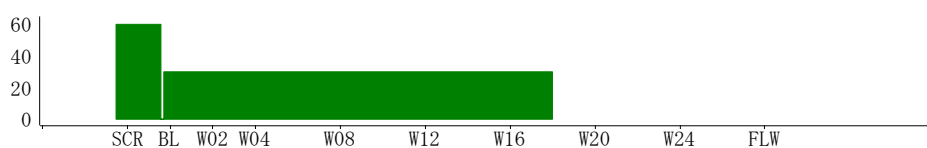


【手法 Sum Graph】(SG)

複数レコードのデータがあり、そのデータに重なる部分があった場合にはその合計値を高さとして表現します。たとえば通常処方薬剤があり、症状の悪いときのみ追加で投与量の異なる同一薬剤が投与された場合に一般名レベルでの投与量の推移を高さで表現できます。テキストは MS Mincho 8pt で出力します。

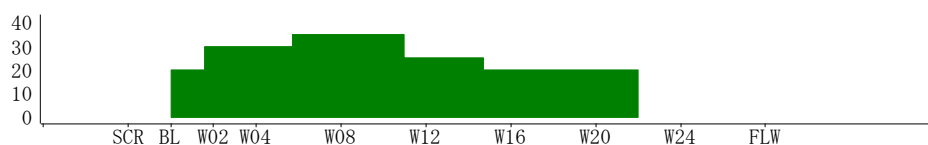
[2 レコードのデータが 1 つにまとめられて表示された例（時期の重なりなし）]

LLL SODIUM mg / BID (ORAL)



[3 レコードのデータが 1 つにまとめられて表示された例（時期の重なりあり）]

AAA SODIUM mg / TID (ORAL)

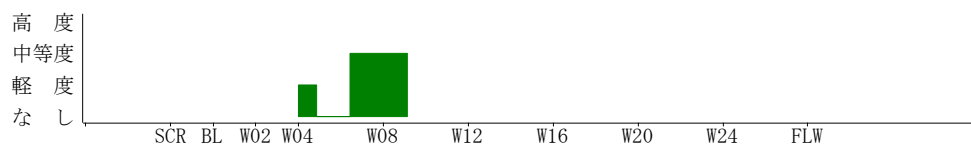


【手法 Max Graph】(MG)

複数レコードのデータがあり、そのデータに重なる部分があった場合にはその最大値を高さとして表現します。例えば部位は異なるが同一 P T の有害事象の P T レベルでの程度の変化を高さで表現できます。テキストは MS Mincho 8pt で出力します。

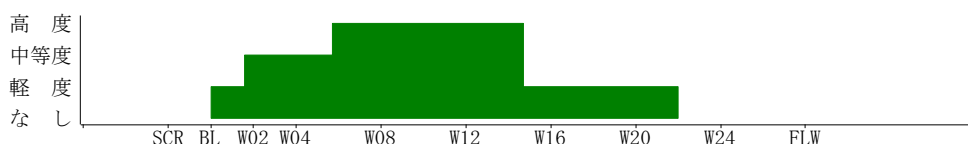
[2レコードのデータが1つにまとめられて表示された例 (時期の重なりなし)]

AST増加



[3レコードのデータが1つにまとめられて表示された例 (時期の重なりあり)]

そう痒症



【手法 Vertical Table】(VT)

グラフの3手法のほか被験者背景などの1症例1レコードのデータを縦変換し、表形式で出力する手法も用意しております。テキストはMS Mincho 8ptで出力します。

[出力例]

Item	Value
Study Identifier	SAMPLE02
Subject Identifier for the Study	100006
Subject Reference Start Date/Time	2003-09-25
Subject Reference End Date/Time	2004-01-10
.....
Country	JPN

動作条件

Windows NT family 32 bit 版上で動作する SAS 9.2 Analytics Pro 日本語版が正常に動作するクライアントPCで動作します。

利用するフォルダーに対するファイルの作成・削除ならびにファイルに対する読み取り・書き込みといったOS上の権限も必要です。

重要なお報告ならびにご対応のお願い

SAS RTF 出力において Landscape (用紙の向き横) で1ページに複数のグラフを出力すると2ページ目以降で縦方向の長さが意図したものと異なる設定になってしまう現象 (発売開始時点) が認められていて本ソフトウェアもこの影響を受けています。結果を印刷して利用する場合は MS/Word などの RTF ファイルを操作することが出来る他のソフトウェアを利用して文書全体に対して用紙設定を再度行ってください。

お問い合わせ先

クライミングコンフロンシステム株式会社 担当：鈴木、安野

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-10 東洋ビル

TEL03-4530-6041 Mail info@climbingconfront.co.jp HP www.climbingconfront.co.jp

SAS は、米国及び各国での米国 SAS Institute Inc. の登録商標です
Microsoft, Windows, Word は、米国マイクロソフト社の商標または登録商標です
画面は開発中のもので製品版と異なることがあります。

3レコードの重なりをまるめるときの説明用

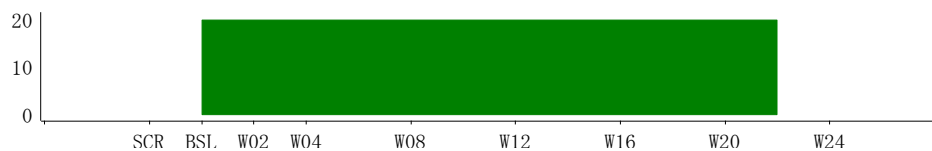
【手法 Sum Graph】

複数レコードのデータがあり、そのデータに重なる部分があった場合にはその合計値を高さとして表現します。たとえば通常処方薬の薬剤があり、症状の悪いときのみ追加で投与量の異なる同一薬剤が投与された場合に一般名レベルでの投与量の推移を高さで表現できます。

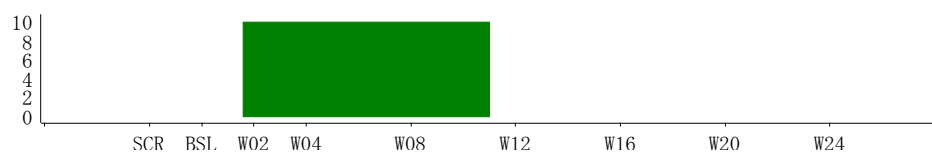
〔使用例〕

入手されたデータが次のように3レコードに分かれていても

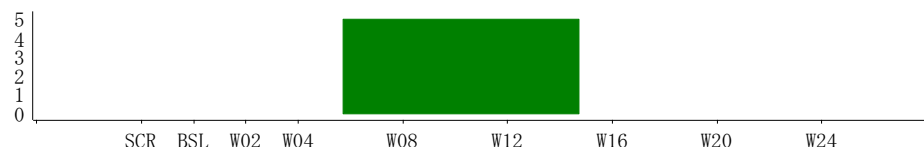
AAA SODIUM (20) mg / TID (ORAL)



AAA SODIUM (10) mg / TID (ORAL)

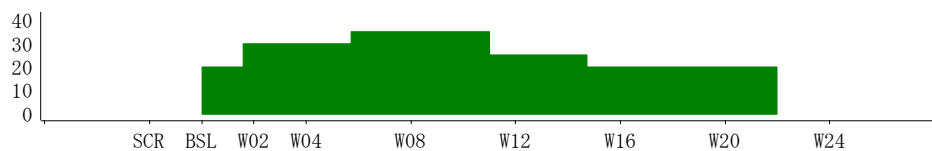


AAA SODIUM (05) mg / TID (ORAL)



同一薬剤成分として1つのグラフにまとめその投与量の推移を表示したい場合に用います。

AAA SODIUM mg / TID (ORAL)



3レコードの重なりをまとめるときの説明用

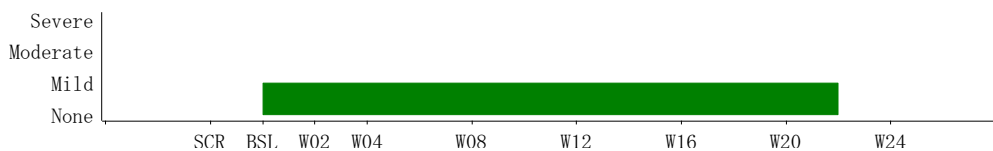
【手法 Max Graph】

複数レコードのデータがあり、そのデータに重なる部分があった場合にはその最大値を高さとして表現します。例えば部位は異なるが同一P Tの有害事象のP Tレベルでの程度の変化を高さと表現できます。

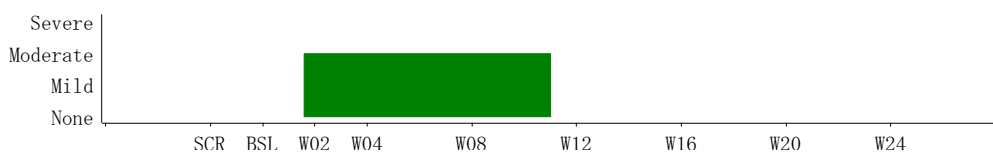
〔使用例〕

入手されたデータが次のように3レコードに分かれていても

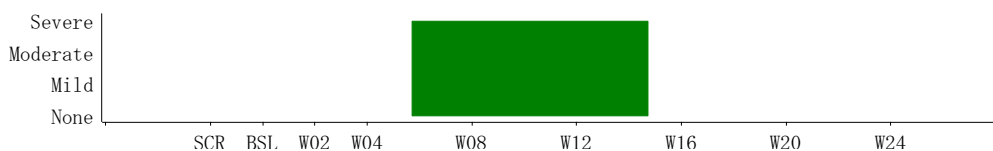
かゆみ (左手)



かゆみ (右手)



かゆみ (左足)



同一P Tとして1つのグラフにまとめその最悪程度を表示したい場合に用います。

そう痒症

